

行動する総政

～過去・現在・未来～



総合政策学部は、学問の修得にとどまらず、
社会問題の解決に取り組める人材育成を目的とするという点で、
中央大学の中でも際立った特徴を持つ学部です。

中央大学総合政策学部

中央大学教育イノベーション推進事業採択取組

「政策」と「文化」を融合

政策科学科



FEATURES —学科の特色—

政策科学科は、社会科学の統合的な視点から、現実の諸課題やその解決にアプローチする学科です。原因の特定や解決策の提示には、単一の学問分野だけでなく、複数の分野を横断する学際的な視点が必要となります。そのため、本学科では法学、経済学、経営学、政治学、社会学などの学問を幅広く提供しています。また、併せて国際政策文化学科設置の科目も履修することで、背後にある文化や習慣と向き合い、さまざまな価値観をふまえたうえで解決策を提案できる能力を身につけることができます。

その解決策は「客観的証拠」に基づく立案（EBPM：Evidence-Based Policy Making）であることも重視しています。プログラミングや統計分析といったデータサイエンス教育にも力を入れており、2024年度からは中央大学で唯一総合政策学部だけが、データサイエンスのリテラシーレベル科目を必修化しています。

OBJECTIVES —学びの目標—

- ・ 時代の課題を発見し解決の道筋を描く、社会科学を中心とした広い知的体系を獲得する
- ・ 科学的な原因の特定と解決策立案のため、データサイエンスの知識・スキルを身につける
- ・ 国際社会で活躍できる高い語学運用能力を身につける

するふたつの学科

国際政策文化学科

異文化理解

グローバル課題

英語+9言語

ジェンダー

Field Studies

宗教学

FEATURES —学科の特色—

国際政策文化学科は、世界各国の文化や社会に焦点を当てた学科であり、異文化理解やそれに基づく問題解決を目指します。この目的のため、文化人類学、宗教学、比較文化研究、地域研究、国際交流論など、文化理解に関する科目を多く設置しています。また、併せて政策科学科設置の科目も履修することで、法制度や市場原理などをふまえた、より実践的な問題解決能力の修得が可能となります。

OBJECTIVES —学びの目標—

- ・時代の課題を発見し解決の道筋を描く、人文科学や地域研究を中心とした知的体系を獲得する
- ・異文化共存と現代社会の持続的発展を目指した思考力を身につける
- ・多言語社会理解のために、英語に加えもう一言語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、アラビア語、マレー・インドネシア語、ロシア語、ペルシア語、ヒンディー・ウルドゥー語）を学び、国際社会で活躍する可能性を拡げる

◇三つのポリシー◇

・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

＜養成する人材像＞

中央大学の建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」とともに、学部理念である「政策と文化の融合」（文化的背景を理解して現代社会が直面する諸問題を解決する視点）を十分理解し、国内外において、さまざまな観点から問題の発見・解決、社会現象の解明を行うことができる人材を育成します。そのために、高いレベルの外国語運用能力とともに、多様な異文化を理解・受容できる包容力、さらに、問題解決のためのシステム設計、情報の利活用ができる能力を養成します。・・・and more!

・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

＜カリキュラムの基本構成＞

総合政策学部は、学位授与の方針に掲げる知識・能力・態度等の修得のため、以下のように教育課程を編成します。

＜カリキュラム基本方針＞

総合政策学部は、政策をその学びの中心においた政策科学科と、国際文化を中心においた国際政策文化学科の二学科で構成されます。

両学科のカリキュラムは、「外国語」と「情報」を身につけて研究の道筋を確立し、そこから「政策」と「文化」を幅広く学修することによって、本学部が目指す「政策と文化の融合」を実現するものです。

政策科学科には「法学」、「経済・経営」、「政治・社会」という三系統が、そして国際政策文化学科には「グローバル・リージョナル・スタディーズ（国際地域文化）」、「グローバル・イシューズ（国際現代社会）」という二系統が設けられており、1年次から体系的な知識の修得が可能となっています。・・・and more!

・入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

＜求める人材＞

総合政策学部では、高いレベルの外国語運用能力とともに、多様な異文化を理解・受容できる包容力、さらに、問題解決のためのシステム設計、情報の利活用ができる能力を養成することで、学部理念である「政策と文化の融合」を十分理解し、国内外において、様々な観点から問題の発見・解決、社会現象の解明を行うことができる人材を養成することを目的としています。この目的を達成するため、次のような学生を求めています。

1. 実際に国内外で生じている社会問題・現象を解き明かそうという強い知的的好奇心と行動力を持ち続けられる人（社会問題・現象への関心）
2. 様々な領域の知識のみならず、異なる文化圏の慣習や制度等に関心を抱き、違いの本質を意識しながら問題解決への意欲を持ち続けられる人（学際的・国際的理解）
3. 社会問題・現象の分析のみならず、具体的に解決・解明に取り組み、社会の発展に寄与する意思を持ち続けられる人（社会貢献への意欲）・・・and more!

各ポリシーの詳細は、総合政策学部公式 Web サイトへ！

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/policystudies/guide/policy/>



政策科学科

の履修

<2024 年度以降入学生対象>

『政策と文化の融合』

自身の主属する学科の主たる専門
他学科の領域(系統)からも選んで

『積み上げ式の学修』

積み上げ式の学修ができるよう

	1年次	2年次	3年次	4年次
導入科目群	導入教育			
外国語教育 科目群	外国語教育・GATEプログラム			
基礎科目群	グローバルスタディーズ			
	情報フルエンシー			
	データサイエンス・リテラシー			
	フィジカル・リテラシー			
	法学	主専攻		
	経済・経営			
政治・社会				
グローバル・リージョナル・スタディーズ (国際地域文化)	副専攻			
グローバル・イシューズ (国際現代社会)				
専門科目群	法学	主専攻		
	経済・経営			
	政治・社会			
	グローバル・リージョナル・スタディーズ (国際地域文化)	副専攻		
	グローバル・イシューズ (国際現代社会)			
応用科目群	演習			
	インターンシップ			
	特殊講義			
	学部間共通科目			

国際政策文化学科の履修

<2024年度以降入学生対象>

領域(系統)を明確に把握しつつ、履修することで、政策と文化を融合した複眼的な学びが得られます。

に両学科ともに、学科における系統がもうけられています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
導入科目群	導入教育			
外国語教育科目群	外国語教育・GATEプログラム			
基礎科目群		グローバルスタディーズ		
		情報フルエンシー		
		データサイエンス・リテラシー		
		フィジカル・リテラシー		
		グローバル・リージョナル・スタディーズ (国際地域文化)	主専攻	
		グローバル・イシューズ (国際現代社会)		
		法学	副専攻	
	経済・経営			
	政治・社会			
専門科目群		グローバル・リージョナル・スタディーズ (国際地域文化)	主専攻	
		グローバル・イシューズ (国際現代社会)		
		法学	副専攻	
		経済・経営		
		政治・社会		
応用科目群		演習		
		インターンシップ		
		特殊講義		
		学部間共通科目		

◇教育研究上の目的◇

人文科学、社会科学、自然科学、工学及びその他の関連諸分野を総合する観点から、現代社会における政策に関する理論及び諸現象にかかる教育研究を行い、「政策と文化の融合」の理念の下に不確実でグローバルな時代に必要とされる高度な知識を持ち、文化的背景を理解して現代社会が抱える諸問題を解決し、より良い社会を構築しうる人材を養成する。(中央大学学則 第3条の2)

◇アセスメントポリシー◇

総合政策学部では、全学の「学修成果の把握に関する方針」を踏まえて、「教育課程における学修成果の把握に関する方針」を次のとおり定める。

目的

- ・総合政策学部で展開する教育活動について、その質の保証と向上をはかる。
- ・上記を達成するために、総合政策学部学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に定める「卒業するにあたって備えるべき知識・能力・態度」に関する学修成果を多角的に測定し可視化する。
- ・学修成果の把握を通じて、総合政策学部における教育活動の改善を図る。

<総合政策学部学位授与の方針「卒業するにあたって備えるべき知識・能力・態度」>

1. 専門性に基づく複眼的思考能力

社会科学および人文科学等の多分野にわたる実践知を身につけ、物事を多面的かつ学際的に捉えることができる。

2. コミュニケーション能力

関係する人々との協働に必要なコミュニケーション能力を発揮し、課題解決や他者への説明等に有効な論理的思考を行い、その結果を発信することができる。

3. 組織的行動能力

個人及びチームのリーダーとして、プロジェクトを進める上で必要となる統率力、協調性、運営上必要な自己節制、時間管理等の重要性を理解し、実践することができる。

4. 多様性理解力

異文化を理解し、寛容の精神をもって他者の個性を受容し、民族および個人の多様な価値観を尊重することができる。

5. 総合的実践力

以上のような多様な能力を基礎とし、より良い社会の構築に向けた企画を構想し、実践的な活動に意欲的かつ継続的に取り組むことができる。

Graduates in Action

- 活躍する卒業生たち -

総合政策学部は2023年に創設30周年を迎えました。
総合政策学部の卒業生は、国内外の様々なフィールドで活躍しています。



黒田絵里香さん
1期生
慶應義塾
総務部課長
協生環境推進室事務長



野副パーソンズ美緒さん
2期生
国連世界食糧計画
ナイジェリア事務所



今村祐介さん
5期生
プロジェクトマネージャー
こどもビジネススキル代表



田崎紘典さん
5期生
フラワーショップパディ
代表取締役
NFD日本フラワー
デザイナー協会講師
1級フラワー装飾技能士



南 修二さん
5期生
事業構想士
ロート製薬株式会社



室町泰史さん
6期生
N.B.P.JAPAN株式会社
マーケティング部長
ASK歌劇団副代表
バリトン歌手



松本太一さん
7期生
放課後等デイサービス
コンサルタント
アナログゲーム
療育アドバイザー



北本紗織さん
10期生
中央大学高校教諭
(英語科主任)
吹奏楽部顧問

(※肩書きはいずれも2024年3月現在)

在学生や卒業生の活躍は、総合政策学部公式 Web サイトでご覧いただけます。

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/policystudies/>



表紙写真提供：
Brian Harrison 総合政策学部教授
撮影場所・撮影年：
Galapagos islands (Ecuador) 2023